

【専門教育科目/看護の展開/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
感染看護論	NSP44_005	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堀口 まり子	408	mariko.horiguchi	月曜日 16:30～18:00		
授業の目的・概要	感染を未然に防ぐ知識と技術は、地域・在宅から高度専門医療機関まであらゆる看護の領域において重要な課題である。施設内および市中感染における感染防護の基礎的知識・技術、感染症看護の基礎的知識と技術について理解し、感染看護の理解を深めることを目的とする。感染症対策は個人だけでなく地域や組織で行われることを理解し、看護職の役割と機能について教授する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	近年の感染対策の動向と感染対策の基本的な考え方が理解でき、整理できるように実際の事例を意識的にとりあげる。感染対策の看護を実習体験から振り返り、看護を考える機会にすること。				
教科書	1) 系統看護学講座専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ /著:有田清子 /医学書院 /2020 2) 系統看護学講座専門分野Ⅱ アレルギー・膠原病感染症 /編:岩田健太郎 他 /医学書院 /1991 [2冊指定]				
参考書	・看護学テキスト疾病と治療Ⅰ /編:松田暉 他 /南江堂 /2015 ・感染看護学 /編:操 華子・川上和美 /南江堂 /2022 ・基礎から学ぶ医療関連感染対策 /著:坂本史衣 /南江堂 /2020				
外部教材	必要時提示する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	組織の中の感染制御の位置づけを説明できる。	HSU(2),NS(2)			
②	感染症法と新興・再興感染症対策について説明できる。	HSU(2),NS(2)			
③	感染症と標準予防策と経路別予防策を説明できる。	HSU(2),NS(2)			
④	感染防止技術について説明できる。	HSU(2),NS(2)			
⑤	感染症看護の知識や技術が説明できる。	HSU(2)(4),NS(2)(4)			
⑥	感染予防における看護職の役割と機能について説明できる。	HSU(2)(5),NS(2)(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	組織の中の感染対策と看護の役割 ・院内感染とは ・院内感染対策の実際	講義	事前課題：教科書 1)p423～460、2)p218～226 を読みまとめる。	4	
2	日本における感染管理の変遷 ・感染症法と新興・再興感染症の対策 ・新興・再興感染症の課題、薬剤耐性菌の広がり	講義	事前課題：教科書 2)感染症法 新興・再興感染症を読みまとめる。	3	
3	感染管理の実際 (1) ・感染防止の基礎知識 ・標準予防策・経路別予防策、 ・感染防止技術	講義 GW	事前課題：教科書 1)p425～460、2)p220～222、3)p361～を参考に学習内容に沿って整理し出席する。	4	
4	感染管理の実際 (2) ・職業感染対策 ・予防接種とワクチン ・感染管理・専門看護師の役割・機能	講義 GW		4	
5	感染管理の実際 (3) ・サヘベイルランス ・アウトブレイクへの対策	講義 GW	事前課題：教科書 3)p359～369 を読みまとめる。	4	
6	介護施設等における感染対策の実際 感染制御が必要な対策の実際	講義 GW	事前課題：事前に配布した資料をもとに介護施設等の感染症看護に関することまとめる。	4	
7	感染制御が必要な対策の実際	講義 GW	事前課題：感染制御の手法について整理する。	4	
8	感染制御が必要な対策の実際	講義 GW 発表	事前課題：感染制御の手法について整理する。	3	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【専門教育科目/看護の展開/看護の統合と発展】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	60	0	15	15	10	100
	思考・推論・創造する力	60	0	0	5	0	65
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	5	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	5	5	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	筆記試験による最終試験により学習成果を評価する。				必要に応じて解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	グループワークでの成果発表 取り組みの姿勢を評価する。				授業中に助言を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
ポートフォリオ	①	✓	ノートに整理した事前課題を評価する。				授業中に助言を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①		グループワークへの参加姿勢や意欲を総合的に評価する。				授業中に助言を行う。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	科目責任者は病院の看護師として 40 年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	実務経験のある教員の指導のもと、感染看護について理解を深める。 教員の経験から感染症看護の実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。						
その他	・試験への教科書持ち込みは不可とする。 ・新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるが、その際は随時、お知らせする。						